

令和7年度第7回横浜eアンケート

山下ふ頭再開発「答申を踏まえた基本的な方向性」に関するアンケート

実施期間 令和7年7月4日（金）から7月14日（月）

事業所管課 港湾局 山下ふ頭再開発調整課

回答者数 777人（回答率：15.3%）

【参考】eアンケートメンバー数 5,079人（7月4日時点）

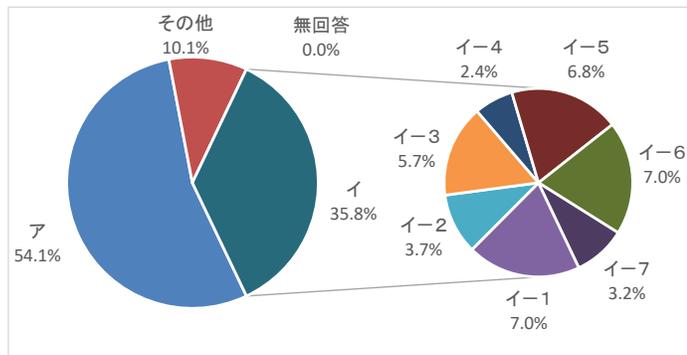
年代別の回答者構成比

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	計
回答者	1 (0.1%)	15 (1.9%)	58 (7.5%)	107 (13.8%)	197 (25.4%)	241 (31.0%)	130 (16.8%)	28 (3.6%)	777 (100.0%)

Q1 ご意見のある項目を1つお選びください。（単一選択）

n = 777

ア	山下ふ頭の将来像(全体について)	54.1%	420
イ	各テーマと取組の考え方	35.8%	278
	イー1 テーマ1 緑・海辺	7.0%	54
	イー2 テーマ2 イノベーション	3.7%	29
	イー3 テーマ3 賑わい	5.7%	44
	イー4 市民が結ぶ新たなまちの環	2.4%	19
	イー5 交通機能の強化	6.8%	53
	イー6 災害に強いまち	7.0%	54
	イー7 景観デザイン	3.2%	25
ウ	その他	10.1%	79
無回答		0.0%	0
		100.0%	777



Q2 Q1で選択した項目について、ご記入ください。（自由意見）

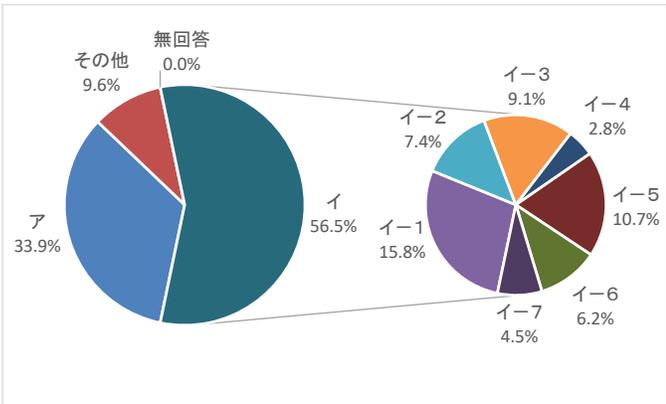
（抜粋）

緑と海辺が隣接する空間には大変共感できます。
年齢層に関係なく市民がいつでも気軽に来れる場所が望ましいと考える。
市民や観光客の憩いの場となるよう、都市でありながら緑が豊かな空間を作るべきだと思う。また、横浜市外に住む人にも「横浜には緑がある」というイメージを持ってもらいたい。
世界に誇れる緑と海辺というタイトルに惹かれました。市民も一緒になって楽しめる空間になってほしい。
緑を増やすことは気温下降に繋がるため、良いことだと思います。ただ、緑を増やすなら、津波など災害に強い緑を増やして欲しいです。
世界に誇れる先進的且つ美しい景観を融合した街づくりを目指して頂きたい。
誰もが気軽に参加できるイベント等の実施
大人や子どもなど幅広い世代が遊べたり、くつろげたりできる施設がほしい。
交通拠点となること自体は歓迎だが、かえって渋滞や混雑の元とならないようにして欲しい。観光で訪れる人と生活や仕事で利用する人がぶつからない動線を意識してもらいたい。
地震などによる津波への対策をしっかりしていただきたいと思います。

Q3 ご意見のある項目を1つお選びください。(Q1で選択したもの以外)【任意】
(単一選択)

n = 177

ア	山下ふ頭の将来像(全体について)	33.9%	60
イ	各テーマと取組の考え方	56.5%	100
	イ-1 テーマ1 緑・海辺	15.8%	28
	イ-2 テーマ2 イノベーション	7.4%	13
	イ-3 テーマ3 賑わい	9.1%	16
	イ-4 市民が結ぶ新たなまちの環	2.8%	5
	イ-5 交通機能の強化	10.7%	19
	イ-6 災害に強いまち	6.2%	11
	イ-7 景観デザイン	4.5%	8
ウ	その他	9.6%	17
	無回答	0.0%	0
		100.0%	177



Q4 Q3で選択した項目について、ご記入ください。
(自由意見)

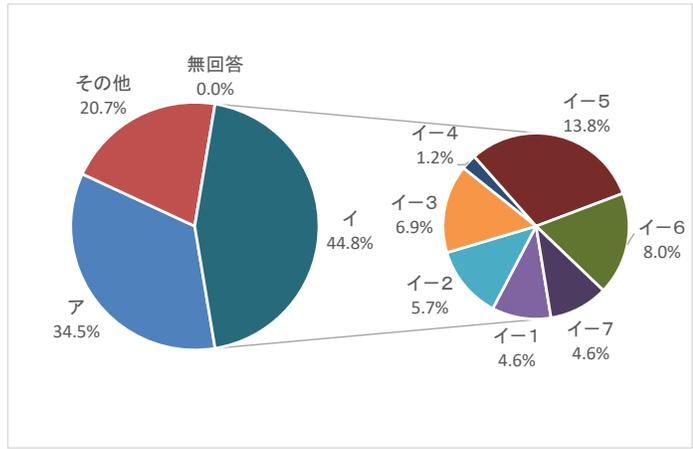
(抜粋)

世界に誇れるためにはインフラ構築がしっかりできるように
CO2削減には緑が必要。
山下公園は薔薇など花で市民を癒してくれています。山下埠頭は海辺の松林を再現して日本の海辺の景観を見せて夏でも木陰がある心地よい場所にしてほしいです。みなとみらいは人工的ですが、自然は少ないので、対照的に緑を多くして憩える場所にしてほしいです。
脱炭素を目指しエネルギー利用に取り組むのは良いことだと思いますが、自然環境に優しい利用方法を目指してほしいです。
横浜市の収益源となる仕組み
交通機能の強化では、交通網の充実を視点論議されているが、速さ、利便性の視点だけでなく、移動を楽しむゆとり視点での検討をお願いしたい。
防災拠点の整備
緑豊かである事は素晴らしいが、それだけでは世界を魅了し、驚かせる事はできないと思います。やはり建築の美しさや壮大さはとても重要でしょう。それが横浜らしさを表していたら、なおさら素晴らしいと思います。
採算がとれるよう、負債を出さないように事業計画を立ててほしい。

Q5 ご意見のある項目を1つお選びください。(Q1, 3で選択したものを以外)【任意】
(単一選択)

n = 87

ア	山下ふ頭の将来像(全体について)	34.5%	30
イ	各テーマと取組の考え方	44.8%	39
	イ-1 テーマ1 緑・海辺	4.6%	4
	イ-2 テーマ2 イノベーション	5.7%	5
	イ-3 テーマ3 賑わい	6.9%	6
	イ-4 市民が結ぶ新たなまちの環	1.2%	1
	イ-5 交通機能の強化	13.8%	12
	イ-6 災害に強いまち	8.0%	7
	イ-7 景観デザイン	4.6%	4
ウ	その他	20.7%	18
無回答		0.0%	0
		100.0%	87



Q6 Q5で選択した項目について、ご記入ください。
(自由意見)

(抜粋)

市民の新たな憩いの場希望
緑のある公園などは山下公園や山手地区が担って、山下埠頭は子供や家族連れが遊ぶ場所ではなく、大人が楽しめるおしゃれな場所にしてほしい。
直接海に入れなくとも、親水公園や子供達が水浴び可能な噴水的な公園、夏の猛暑対策を兼ねて
現在の山下公園を含む景観と調和した全体のデザインを希望
海辺なので、津波災害には特に気を付けてほしい。
誰でも行きやすい場所になり、景観もぜひ見たいと、思うようになれば、人も増え、にぎわうのではないですか。
子供に魅力があるものを作ってほしい。
新規開発よりも癒しの環境重視で

Q7 その他ご意見等があればご記入ください。
(上記、3項目を超えてご意見等がある場合も、こちらにご記入ください。)
(自由意見)

(抜粋)

将来が楽しみです。
全体像がよくわかる。
絵に描いた餅にならないようにしなければならない。
あまりにも抽象的で何を聞きたいのかわからない。
観光名所である山下ふ頭の再開発自体がまだ市民に対してアピール不足だと思う。もっとPRLの方がよい。
計画案をもっと広く市民に広報して欲しい。